

新潟県リコーダー教育研究会 会報 H25-2号  
平成25年11月30日(土) 発行



# さえずり

新潟県リコーダー教育研究会 会長 小池 純夫  
(南魚沼市立塩沢小学校 教頭)

## 「第2回 長岡リコーダーフェスティバル」参加から学んだこと

副会長 前田 英也  
(長岡市立越路小学校校長)

初夏の頃、当会の顧問でいらっしゃる皆川昌雄先生から、第2回 長岡リコーダーフェスティバルへの参加のお誘いをいただきました。

たまたま担任が病休で、4年生のその学級の音楽を私が担当していましたので、「よし、この学級の子どもたちと、教科書のエーデルワイスで楽しく参加できるな!」と思いました。

開催日の9月28日は土曜日です。「よし、子どもたちの授業には影響しないな!」

会場は、音響の素晴らしい朝日酒造エントランスホールで、ここは当校の学区内にあります。「子どもたちは親の送迎なしでも集合が可能だな。よしよし!!」

ここまで条件がそろえば、フェスティバル参加を妨げるものは何も無いと思われました。

しかし、実際には紆余曲折で、皆川先生には大変なご迷惑をおかけしてしまいました。

まず、参加を希望する児童が思うようには集まりません。土・日曜日の子どもたちは、習い事やスポーツ少年団の試合等で、なかなか忙しいのです。他の学級や5・6年生にも募集の枠を広げましたが、全く人数は増えません。結局、4年生の7名で申込みました。

次に、練習時間が取れません。もう音楽の時間は使えませんし、昼休みも「校内音楽会」に向けた個別練習や、「全員遊びの時間」があります。放課後はスクールバスの発車時刻が迫っていたりして・・・。

それでも、低音をバスリコーダーの右手だけで吹けるような音に変えたり、指揮する私も途中からテナリコーダーを持って演奏に参加したりと、何とか応援に駆けつけて下さった保護者の皆さんに聴いていただける発表にはなったのではないかと思います。

リコーダーコンテストへの参加校が、長期減少傾向にある昨今の実情を肌で体感し、それでも参加してくださる多くの小中学校や団体の皆さんに、改めて感謝と敬意の念を抱いた次第です。私たち県リコーダー研のひとり一人が、リコーダーの灯を点し続け、少しでもリコーダーの素晴らしさを周りに伝え続けていくことの大切さを改めて感じました。



## 創立40周年記念式典・第38回全国研究大会「東京大会」・役員会報告

11月23日(土・祝)、東京・天王洲アイルにある TERRATORIA (テラトリア) で全日本リコーダー教育研究会創立40周年記念式典と全国研究大会「東京大会」が行われました。概略を報告します。

### 1 創立40周年記念式典 13:00~13:45

この中で表彰と記念品の授与が行われました。新潟県関係の表彰は次の通りです。

- ・ 特別功労表彰 … 小原 惇先生、皆川昌雄先生、森 嘉雄先生
- ・ 名誉会員功労表彰 … 南雲 照先生
- ・ 永年会員感謝表彰 … 前田英也先生

### 2 記念講演会・記念演奏(全国研究大会「東京大会」) 14:00~15:50

- ・ 記念講演会 … 特別功労表彰を受けた4名の先生方のこれまでの経験や活動を踏まえた講演がありました。新潟県関係は皆川先生が「長岡リコーダーフェスティバルに思う」という内容で講演をされました。
- ・ 記念演奏 … 小作ばれいしょアンサンブル、パンリコーダーアンサンブル、アッリエーヴォリコーダーアンサンブルの演奏がありました。そして、次に即興演奏と水彩画コラボレーションライブが行われました。吉沢実先生(リコーダー)、高橋全先生(チェンバロ)の即興演奏の中、水墨画家の渡邊ちよんとさんが、やはり即興的に水墨画を描くのです。出来上がった絵は、天使が舞い降り、リコーダーを吹いている…といった内容の素敵な作品になりました。  
(この絵は、3月のコンテストの賞状に使われるそうです。)

### 3 祝賀会 17:30~20:00

会場を、近くにある運河上レストラン「WATERLINE」(ウォーターライン)に移し、祝賀会が行われました。この中では、嶋見副会長が、新潟県リコーダー教育研究会の現状や課題について話をされました。たくさんの方々が出席され、盛り上がりました。

### 4 役員会

この日の午前中、全日本リコーダー教育研究会役員会が行われました。3月に行われる第35回全日本リコーダーコンテストについて、次の点が変更になります。

- ・ インターネットを通じての申し込みになります。(事務局の仕事量の軽減、氏名、曲名など申込者の責任で)ただし、今年度は紙ベースでも受け付けるそうです。
- ・ 審査を「技術」「音楽づくり」「音楽性」の3つの観点から行う。(審査の客観性を高めるため)講評もその3点から。
- ・ 次の賞が新設されます。

連続5年出場賞(仮称) 連続3年金賞(仮称) 審査員特別賞(仮称)

(連続5年連続出場、連続3年金賞は、今年度5年目、3年目の団体に贈る。

審査員特別賞は、指導者による優秀な作曲、編曲に対して贈る。)

## 県リコ研に感謝 ～ リコーダー演奏活動などへの日頃の想いなど

児玉 禎明

県リコには、平成5年の夏季リコーダー研修会で入会し、早20年となりました。きっかけは、一般愛好家として活動の場が欲しいと思っていたこと。リコーダーは学生時代経験した吹奏楽とともに、昔から好きだったこと。実際に演奏する時は、県リコーダーコンテストで独奏（平成3年から）の部門に出場する位しかなかったことの3つです。夏季研修会は当時所属していた市民吹奏楽団の音楽仲間から紹介されて参加しました。リコーダー実技研修を目的として、宿泊を伴う楽しさに魅了され、入会しました。当時は一般会員（教職員外）は、いませんでしたが、迷わず入会しました。これが私の県リコ研との出会いです。

当初は、研究会の活動の様子が分かりませんでした。案内をいただければ諸活動への参加を重ねる毎に、例会・夏季研修会・コンテストを柱とした大変すばらしい研究会であることを実感いたしました。

平成13年度から、一般会員では初めて役員（理事・夏季研修）に推されました。翌年はホームページ開設に関わり、現在は広報担当として、ホームページの更新を行っています。近年は、一般会員の入会者数も夏季研修会への参加数も増え、同じ立場として大変嬉しく有り難く思っています。

入会させていただいたお陰で得られた活動はいろいろあります。私は趣味で作曲・編曲を少しやっています。平成14年、津南町・三箇さんか小学校（現在は津南小学校へ統合）のリコーダー部が県リコーダーコンテストへ初出場することになりました。当時の校長先生は、森嘉雄先生でありましたが、学校からの作曲依頼を頂き、「十日町小唄の主題による変奏曲」を作曲させていただくことができました。

また、過去、夏季リコーダー研修会に参加された、宮城県石巻市の教員の方がいらっしゃいました。東日本大震災では、甚大な被害を受けられました。新潟県も同様な地震で被災したこともあり、「復興支援のために演奏しに来て欲しい。」ということになりました。そこで、- 昨年6月には避難所、12月には仮設住宅集会所にて、復興支援のリコーダー演奏会を開催させていただきました。

また、平成14年度の旧・三箇小顧問の先生が、昨年上越市の大潟町小学校へ赴任されました。そこで、吹奏楽部のために校歌の編曲を依頼されました。指導にも行き、秋の同校音楽会にて編曲した校歌が演奏発表されました。その時、私もリコーダー演奏（6種類のリコーダーを使った私の編曲による「日本の四季」など）をさせていただきました。

また、私は若干言語障がい（吃音）があり、「にいがた言友会」の皆さんと交流しています。この会は、言語障がい者の交換の場です。昨年、全国の皆さんが集う例会に参加いたしました。その例会の後半に「二胡」を演奏するグループのボランティア演奏会がありました。その際、私もリコーダーを吹くとお伝えしましたら、「今度、児玉さんのリコーダー演奏を」となり、昨年と今年、演奏を行いました。

また、昨年、佐渡の南中学校が閉校し、統合することになりました。閉校記念式典で、校歌の吹奏楽編曲の依頼を嶋見副会長から頂きました。歴史を閉じる南中学校の足跡づくりに、ささやかなお手伝いできたかなと思っています。

リコーダー演奏や音楽活動に対する想いはいろいろあります。一番の思いは、「趣味を楽しむとともに、私でよければ作曲・編曲・演奏・写譜採譜など、お役に立つことがあれば貢献したい。」という気持ちです。私の個人ホームページ <http://music.geocities.jp/yk200712/> では、作曲・編曲・演奏・写譜採譜など、随時お受けしています。メールフォームもあります。何かありましたら、いつでも気軽にご連絡・ご相談いただきたいと思います。県リコ研の会員数が減少しています。大変良い会です。興味のある方は是非ご入会いただきたいと思います。私は、県リコ研などで未永く活動を続けたいと思いますので、よろしく願いいたします。